

支援プログラム取組内容

（ 放課後等デイサービス ）

5領域の支援内容は、お互いに関連して成り立っており、重なる部分もあります。この「本人支援」の大きな目標は、障害のある子どもが、将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるようにするものであるとされています。以下の5領域は支援プログラムに反映しています。

- ① 「健康・生活」心身の健康や生活に関する領域
- ② 「運動・感覚」運動や感覚に関する領域
- ③ 「認知・行動」認知と行動に関する領域
- ④ 「言語・コミュニケーション」言語・コミュニケーションの獲得に関する領域
- ⑤ 「人間関係・社会性」人との関わりに関する領域



放課後等デイサービス

【集団活動プログラム】

コミュニケーション能力の向上や集団の中で過ごしやすくなるように支援を行います。

（目的）

- ・ 本人の興味や関心の幅を広げる
- ・ 経験や体験を通して本人の自信に繋げる
- ・ 体力づくりやストレス発散に繋がる運動を行う
- ・ 食に関する知識等の習得を目指す
- ・ 季節感や自然を体感する
- ・ 社会性を育む
- ・ 土地勘を身につける
- ・ コミュニケーション能力の獲得を目指す
- ・ 本人が活躍する場面をつくる

（活動内容）

- ・ 絵カードなど、本人に合ったコミュニケーション方法を取り入れる
- ・ 芋ほりやみかん狩り等、自然や土に触れる野外活動
- ・ 虫探しや植物観察等、目的のある野外活動
- ・ 野菜を育て、調理して食べる
- ・ 夏祭りを開催し、出店での販売や買い物を行う
- ・ 当番やお手伝いの体験
- ・ 季節行事に合わせた作品づくり
- ・ 散歩や地域探索
- ・ 音楽に合わせて体操等を行う

【個別活動プログラム】

個々のニーズに応じた療育を行います。

（目的）

- ・興味湧くような本人に合った課題設定
- ・本人の好きな活動を増やす
- ・本人の苦手を克服できるような課題設定
- ・自立や日常生活動作、生活スキルの向上に繋がる力を身に付けられるような課題設定
- ・余暇活動で日々の生活の充実をはかる
- ・保護者様と密な連携を取り、ニーズに合わせた療育を提案する

（活動内容）

- ・タイマーやアナウンスを使い、本人が理解しやすいような時間や場面の切替を行う
- ・パーテーションなどを使って本人に合った環境を提供し、集中して課題に取り組めるよう支援する
- ・本人が自由な活動をできる時間を確保する
- ・保護者様へのアセスメントやモニタリング以外で、定期的に懇談を行う

令和6年4月作成